

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」は、
このたび、第32期の決算を行いました。

当ファンドは、米国バイオ&テクノロジー株マザー
ファンドを通じて、主として、米国の取引所に上場され
ているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端
技術製品、サービステクノロジー等の各分野の企業の株
式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行い、投
資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告
申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し
上げます。

第32期末(2023年3月9日)

基準価額	8,847円
純資産総額	16,537百万円
第31期～第32期	
騰落率	△ 6.6%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみな
して計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示
しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項の
うち重要なものを記載した書面です。その他の内容
については、運用報告書(全体版)に記載しており
ます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書
(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法により
ご提供する旨を定めております。運用報告書(全体
版)は、岡三アセットマネジメントのホームページ
にて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求
により交付されます。交付をご請求される方は、販
売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファン
ド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)
を閲覧およびダウンロードすることができます。

米国バイオ&テクノロジー株オープン

追加型投信/海外/株式

作成対象期間：2022年9月10日～2023年3月9日

交付運用報告書

第31期(決算日 2022年12月9日)

第32期(決算日 2023年3月9日)

 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

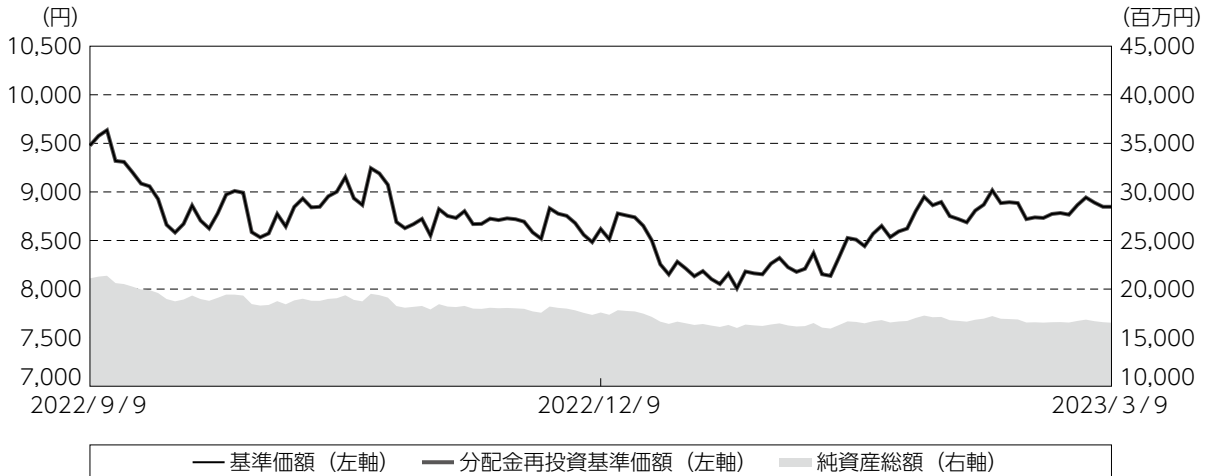
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2022年9月10日～2023年3月9日)



第31期首：9,477円
 第32期末：8,847円 (既払分配金 (税引前) : 0円)
 騰落率：△6.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2022年9月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・旅行需要の回復に対する期待が株価の追い風となった消費者サービス株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ホライゾン・セラピューティクスや、ブッキング・ホールディングス、ベンティックス・バイオサイエンシズなどの上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株や、メディア・娯楽株の下落などがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、アルファベットや、NGMバイオフィーマシューティカルズ、アマゾン・ドット・コムなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場で、円が米ドルに対して上昇 (円高) したことがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月10日～2023年3月9日)

項 目	第31期～第32期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	78 (47) (28) (2)	0.900 (0.545) (0.327) (0.027)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.052 (0.052)	(b)売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c)有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (1) (0)	0.017 (0.010) (0.007) (0.001)	(d)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、ADR銘柄の配当金受け取りに係る手数料等
合 計	84	0.970	
作成期間中の平均基準価額は、8,655円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

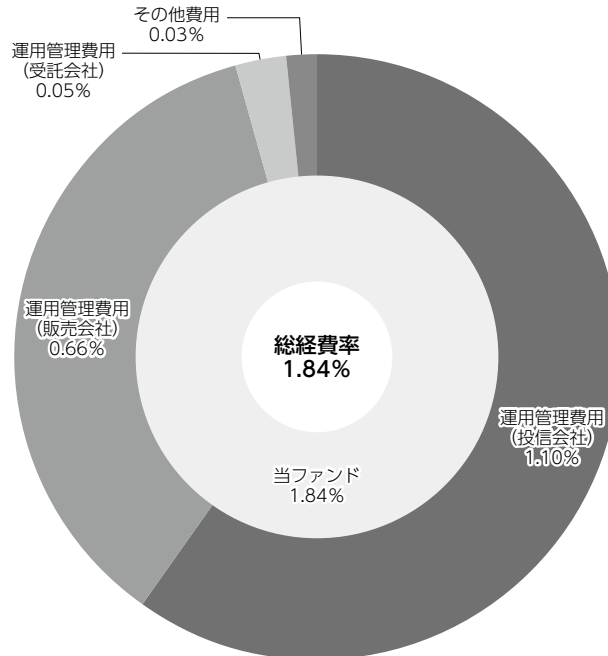
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

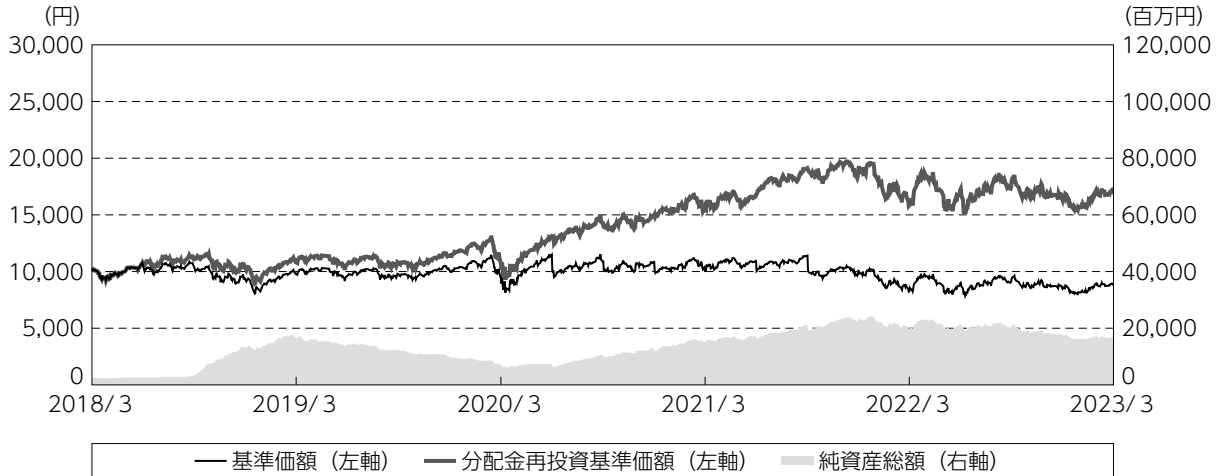
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年3月9日～2023年3月9日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年3月9日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年3月9日 期初	2019年3月11日 決算日	2020年3月9日 決算日	2021年3月9日 決算日	2022年3月9日 決算日	2023年3月9日 決算日
基準価額 (円)	10,041	9,709	9,400	10,004	8,250	8,847
期間分配金合計(税引前) (円)	—	1,050	300	3,050	2,450	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.1	△ 0.3	42.2	4.0	7.2
S & P 500指数(円換算後)騰落率 (%)	—	4.1	△ 0.4	37.5	15.9	13.2
純資産総額 (百万円)	2,482	16,476	6,924	14,917	19,752	16,537

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2022年9月10日～2023年3月9日)

米国株式市場は、2022年9月中旬から10月中旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、インフレ抑制に対する米連邦準備制度理事会（FRB）の強い姿勢が示され、長期金利が再び上昇したことから下落しました。その後、10月下旬から2023年3月上旬にかけては、良好な企業業績が好感された一方、FRBによる金融引き締め長期化懸念が重石となり、上下にもみ合いの動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月10日～2023年3月9日)

＜米国バイオ&テクノロジー株オープン＞

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジーなどの各分野の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。また、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドから、投資候補銘柄に関する投資助言を受けます。

「米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね高位を維持しました。

○米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

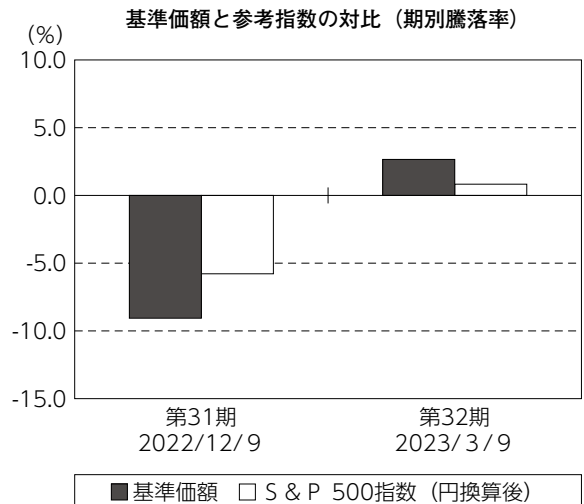
運用状況につきましては、テクノロジー関連株では、ソフトウェア・サービス株を高位にウェイト付けしました。一方、バイオ関連株では、中長期的な成長性が高いと判断されるバイオ医薬品株を中心としたポートフォリオで運用しました。テクノロジー関連株では、ソフトウェア・サービス株の買い付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、バイオ関連株では、同業他社からの買収提案を受け、株価が上昇したバイオ医薬品株の売却を行い、ウェイトを引き下げました。

株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月10日～2023年3月9日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S & P 500指数（円換算後）です。

分配金

(2022年9月10日～2023年3月9日)

当ファンドは、年4回、3月、6月、9月および12月の各月の9日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万円当たり・税引前)

項 目	第31期	第32期
	2022年9月10日～ 2022年12月9日	2022年12月10日～ 2023年3月9日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	44	53

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国株式市場は、一部の地方銀行が破綻するなど、金融システムに対する不安が高まっていることから、短期的には不安定な展開が続くものと予想されます。その後、2023年後半以降は、金融システム不安の鎮静化や、金融緩和期待の高まりにより、株価は上昇に転じると予想されます。

バイオ&テクノロジー関連株については、テクノロジー関連株は、短期的には値動きの大きい展開が想定されます。一方、バイオ関連株は、景気悪化が業績に与える影響が相対的に小さいことから、下値余地は限定的と予想されます。

(運用方針)

<米国バイオ&テクノロジー株オープン>

主要な投資対象である「米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株では、持続的な成長が期待されるソフトウェア・サービス株を高位にウェイト付けします。バイオ関連株では、中長期的に高い成長が期待される医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株を中心に組入れを行う方針です。

株式組入比率については、引き続き高位を維持する方針です。

お知らせ

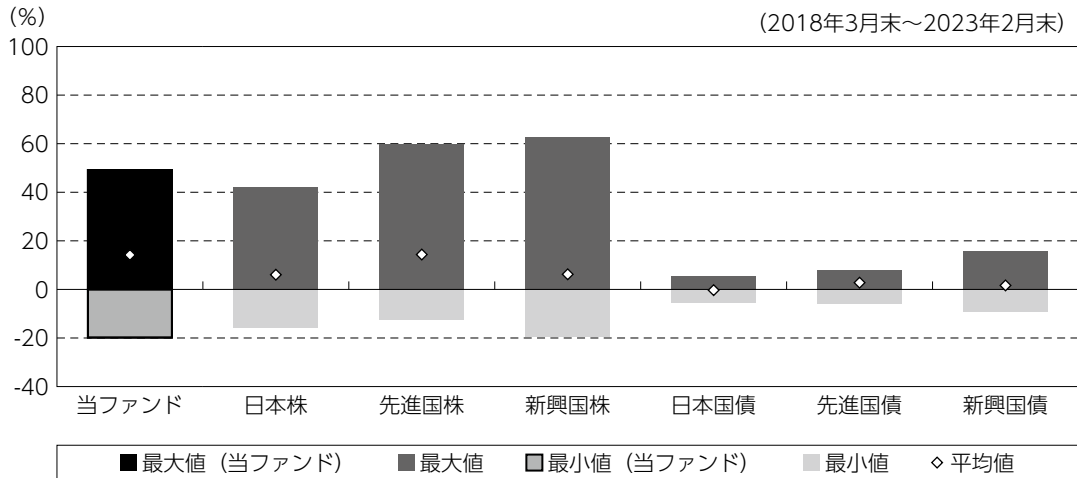
- ・ファンドの運用の基本方針等に変更はなく、信託期間を延長することにより引き続き投資者の皆さまに継続して投資機会を提供させていただくため信託期間の終了日を2025年3月7日から2035年3月7日に変更しました。（実施日：2022年12月7日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年3月17日から2035年3月7日までです。	
運用方針	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主として、米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	米国の取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	投資候補銘柄の選定にあたっては、技術や製品の革新性、将来性、企業の成長性、収益性、成長過程等に着目します。 ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、セクター別比率、流動性等を勘案して行います。
分配方針	年4回、3月、6月、9月および12月の各月の9日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	49.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 19.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	14.2	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

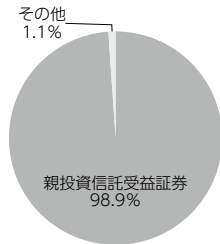
組入資産の内容

(2023年3月9日現在)

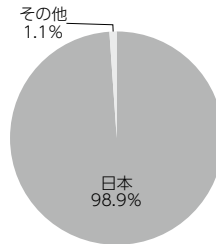
○組入上位ファンド

銘柄名	第32期末
米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	98.9%
組入銘柄数	1銘柄

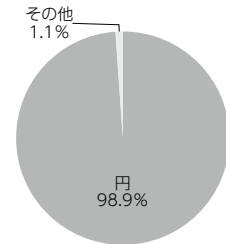
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

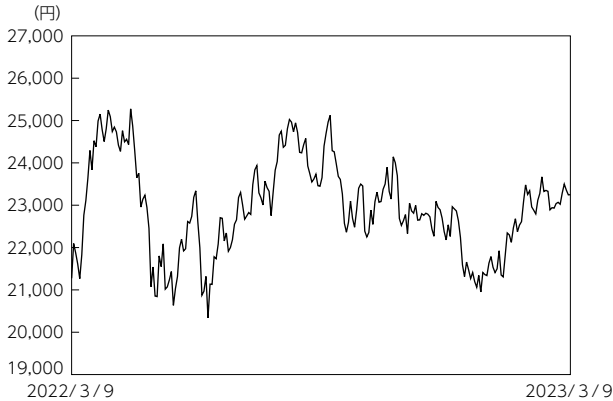
項目	第31期末	第32期末
	2022年12月9日	2023年3月9日
純資産総額	17,589,264,079円	16,537,492,455円
受益権総口数	20,410,327,109口	18,692,057,515口
1万口当たり基準価額	8,618円	8,847円

(注) 当作成期間（第31期～第32期）中における追加設定元本額は211,152,879円、同解約元本額は3,785,551,713円です。

組入上位ファンドの概要

米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月10日～2023年3月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	23 (23)	0.102 (0.102)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (4) (4)	0.020 (0.018) (0.002)
合 計	28	0.124

期中の平均基準価額は、22,940円です。

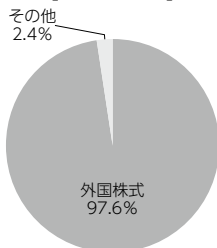
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

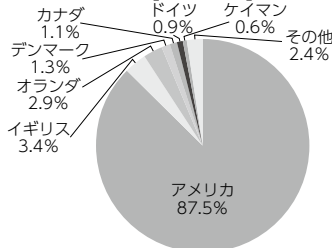
(2023年3月9日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	8.6%
2 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	6.1%
3 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.5%
4 CADENCE DESIGN SYS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.4%
5 REGENERON PHARMACEUTICALS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.7%
6 BOOKING HOLDINGS INC	消費者サービス	米ドル	アメリカ	2.6%
7 ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	イギリス	2.4%
8 QUALCOMM INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.2%
9 SERVICENOW INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.1%
10 PALO ALTO NETWORKS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.0%
組入銘柄数		65銘柄		

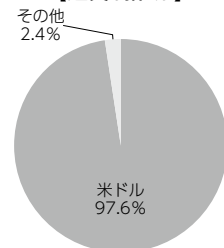
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。